

2015年10月1日

各 位

三井物産株式会社
株式会社三井住友銀行
株式会社日本政策投資銀行

投資事業会社「MSD企業投資株式会社」の設立と運営ファンドの運用開始について

三井物産株式会社（社長：安永 竜夫、以下「三井物産」）、株式会社三井住友銀行（頭取：國部 毅、以下「SMB C」）、株式会社日本政策投資銀行（社長：柳 正憲、以下「DB J」）（3社併せて以下「スポンサー3社」）は、投資事業会社であるMSD企業投資株式会社（以下「MSD企業投資」）を共同で設立し、本日、MSD企業投資が運営するファンド「MSD第一号投資事業有限責任組合（以下「MSDファンド」）」をスポンサー3社の各100億円、総額300億円の出資により組成し、運用を開始しました。

MSD企業投資は、昨今の国内・海外市場の競争激化や後継者不在による事業承継問題など、国内企業が直面する厳しい経済環境や多様な経営課題に対し、長期的な視野に立ったパートナーとして、投資先企業の自立・永続の実現に向け、スポンサー3社が有する幅広いネットワークや知見を活用し、次の発展フェーズまでの成長を支援していきます。

三井物産は、これまで自社や関係会社を通じてベンチャー企業向けや成熟企業向けなど国内外で企業投資活動を続けてきましたが、今後は成熟企業向け投資については取り組んでいく範囲や投資規模を拡大させるため、今回のような優良パートナーとのファンド組成活動やファンド出資を国内及び海外で進めていきます。今回の取り組みにおいて、三井物産は国内外に広がるネットワークやこれまで蓄積した事業運営ノウハウを活用し、MSDファンドの投資先企業の海外展開や経営改善等を通じた成長に貢献していきます。

SMB Cは、今回の取り組みを通じ、スポンサー3社が有するネットワーク、企業価値向上やファイナンスのノウハウ、人材を活用し、必要なリスクマネーを供給することで、お客さまの事業承継問題をはじめとした多様な経営課題の解決や更なる成長・発展を支援していきます。

DB Jは、これまで培った投資ノウハウやネットワークを活用し、三井物産及びSMB Cと協調してリスクマネーの供給に努めることで国内企業の成長を支援し、わが国経済の活性化に貢献していきます。なお、本件については成長資金市場の創造・発展をより一層加速するための自主的取り組みとして2015年6月29日に創設した「成長協創ファシリティ」の対象案件としています。

< M S D企業投資株式会社の概要 >

商号	M S D企業投資株式会社
所在地	東京都千代田区大手町1丁目3番7号 日本経済新聞本社ビル8階
資本金	99百万円
株主構成	三井物産企業投資株式会社 33.3% 株式会社三井住友銀行 33.3% 株式会社日本政策投資銀行 33.3%
設立日	2015年9月1日
代表者	會田 英正（代表取締役共同代表） 安田 浩（代表取締役共同代表）
問い合わせ先	代表電話番号：03-3285-3622
事業内容	投資事業組合の管理・運営、及び経営コンサル業務
基本理念	日本企業による日本企業のための投資事業会社として、企業の課題解決と成長実現を支援し、株主・取引先・従業員といったすべてのステークホルダーにとっての価値最大化を目指す。

< 運営ファンドの概要 >

ファンド名称	M S D第一号投資事業有限責任組合
ファンド総額	300億円
無限責任組合員	M S D企業投資株式会社
有限責任組合員	三井物産株式会社 株式会社三井住友銀行 株式会社日本政策投資銀行
ファンド組成日	2015年10月1日
ファンド期間	10年間

< スポンサー構成 >



以 上